

①外国語(英語)コアカリキュラム対応表(一覧)

外国語(英語)コアカリキュラム対応表(一覧)

大学名	大東文化大学
学部・学科等名	教職特別課程

<中学校> ※「教科に関する専門的事項」は、「一般的包括的科目」のみ記載すること。

ページ	各科目に含めることが必要な事項	対応授業科目(1)	対応授業科目(2)	対応授業科目(3)	対応授業科目(4)
2-3	各教科の指導法	教科教育法(英語)基礎A			
		教科教育法(英語)基礎B			
		教科教育法(英語)応用A			
		教科教育法(英語)応用B			

<高等学校>

ページ	各科目に含めることが必要な事項	対応授業科目(1)	対応授業科目(2)	対応授業科目(3)	対応授業科目(4)
前掲 2-3	各教科の指導法	教科教育法(英語)基礎A			
		教科教育法(英語)基礎B			
		教科教育法(英語)応用A			
		教科教育法(英語)応用B			

2) 学習指導案の作成について理解し、授業指導に生かすことができる。

(4) 学習評価

一般目標:

中学校及び高等学校における年間を通した学習到達目標に基づく評価の在り方、観点別学習状況の評価に基づく各単元における評価規準の設定、さらに、評定への総括の仕方について理解する。また、言語能力の測定と評価の方法についても併せて理解する。特に、「話すこと[やり取り・発表]」及び「書くこと」については、「パフォーマンス評価」(生徒が実際に話したり書いたりする活動の過程や結果を評価する方法)について理解する。

到達目標: 1) 観点別学習状況の評価とそれに基づく評価規準の設定や評定への総括について理解し、指導に生かすことができる。

2) 言語能力の測定と評価(パフォーマンス評価等を含む)について理解し、指導に生かすことができる。

(5) 第二言語習得

一般目標:

学習者が第二言語・外国語を習得するプロセスについて基礎的な内容を理解し、授業指導に生かすことができる。

到達目標: 1) 1) 第二言語習得理論とその活用について理解し、授業指導に生かすことができる。

英語科の指導法	項目 到達目標 授業回	(1)				(2)										(3)		(4)		(5)								
		1)	2)	3)	4)	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)	11)	12)	13)	14)	1)	2)	1)	2)	1)				
授業科目名及び授業回(シラバスのページ番号)	教科教育法(英語)応用A	1	○	○	○											○								○	○	○		
		2	○	○	○		○	○	○	○	○	○				○		○						○	○	○		○
		3	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○			○		○						○	○			○
		4	○	○			○	○	○	○	○	○	○			○		○						○	○			○
		5	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○		○					○	○	○	○	○
		6	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		7	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		8	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		9	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		10	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		11	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		12	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		13	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		14	○	○			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		(29-30)	15	○	○	○	○									○								○	○	○	○	○
	教科教育法(英語)応用B	1	○	○	○	○									○								○	○	○	○	○	
		2	○	○		○									○								○	○	○	○	○	
		3	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		4	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		5	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		6	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		7	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		8	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		9	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		10	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		11	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		12	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		13	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		14	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		(31-32)	15	○	○			○	○	○	○	○				○												

◎ ←到達目標に係る授業を単独の授業回で行う場合
 ○ ←到達目標に係る授業を複数の授業回にわたって全体的に行う場合